

## 会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和3年度第2回 近江八幡市子ども読書活動推進委員 会議		
開催日時	令和4年2月17日（木）15：15～16：45		
開催場所	文化会館 会議室2		
出席者 会長◎ 副会長○	<子ども読書活動推進委員> ◎市島委員 ○工藤委員 水委員 福地委員 熊木委員 森恒委員  <説明者・事務局> (挨拶) 東生涯学習課長 (事務局) 国本生涯学習課指導主事、木村生涯学習課指導主事、 清水主任主事 (担当者) 奥村近江八幡図書館長 森田幼児課副主幹 堀田学校教育課指導主事 前田学校司書 森村学校司書 大澤学校司書 辻学校司書		
次回開催予定日	令和4年5月下旬～6月上旬		
問い合わせ先	所属名・担当者名： 近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課 国本 電話番号：0748-36-5533 Fax番号：0748-36-5565 メールアドレス： <a href="mailto:045000@city.omihachiman.lg.jp">045000@city.omihachiman.lg.jp</a>		
会議記録	発言記録・要約	要約した理由	

事務局	<p>1. 開会  (1) 開会あいさつ  それでは今日の出席予定者が揃いましたので、始めさせていただきますと思います。私は事務局担当しております生涯学習課の国本です。よろしくお願いいたします。皆様におかれましては平素より近江八幡市の子どもたちの読書活動推進において、各方面でご尽力いただきありがとうございます。会に先立ち生涯学習課長 東が挨拶申し上げます。</p>
生涯学習課長	<p>(2) 挨拶  皆さんこんにちは。生涯学習課長の東でございます。第2回子ども読書活動推進委員会の開催に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。平素より、本市教育行政にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。日頃は、子ども読書活動の充実に向けて様々な方面でご尽力いただき、ありがとうございます。  さて今年度の活動としまして、新たな試みで「読み聞かせ・ブックトークのビデオ作成」を行いました。市内の小中学生に読み聞かせとブックトークを届けることができ、この取組は近江八幡市の大きな財産となりました。ご協力いただきました近江八幡市おはなし研究会の皆さん、近江八幡図書館、市島先生におかれましては、お忙しい中ご協力いただきありがとうございます。  本日の委員会では、今年度の取組のふり返りと、来年度の取組の検討を行います。日頃子どもたちと関わってくださっている委員の皆さんのご意見をいただき、来年度の取組がよりよいものになることを願っております。  今後とも、皆様には、近江八幡市の子どもたちが読書を通じて新しい世界と出会い、心を豊かに育むために、なお一層のお力添えを賜りますことをお願いし私のあいさつとさせていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。課長は、公務のため退席いたします。</p> <p>本日の出席者は13人となっております。半数以上の出席ですので、近江八幡市子ども読書活動推進委員会設置要綱第6条第2項に関する取扱要綱により、本会議は成立しております。公開に関する取扱要綱により、本会議は公開され、会議終了後近江八幡市HPに議事が掲載されますことをご了承ください。また、本会議内容を録音いたしますので、ご了承ください。あわせて記録用に写真を撮影いたしますが、不都合がある方がいらっしゃいましたら、お申し出ください。  では本委員会委員長の市島委員長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
市島委員	<p>こんにちは。総合的な学習の時間が学校現場に導入されて以降、図書館に求められる役割は少し様変わりしました。  変化の激しいこれからの社会を見据え、知識の詰め込みではなく、主体的に課題を解決する、生きる力の育成が学校現場で求められるようになったからだと思います。それに伴って、文科省は、従来の読書センターとしてではなく、学習を支援する学習センターや情報リテラシーを育てる情報センターとしても機能するよう制度や運営の見直しを促しています。  言うまでもなく、読書は自ら本を選び、ページをめぐる主体的な活動です。読書を土台として新しい学びを支えていく役割が学校図書館に期待されてきました。  そんな中、学校図書館法が改正され、学校司書がつかまりました。  しかし、学校司書さんの役割がまだ十分に理解されていない現状があります。そこをいかに打破していくかを考えていくこともこの委員会の大切な役割ではないかと思えます。今回の会議は今年度のまとめと、次年度への方向を考えていくというものですから、いろいろご意見を賜りたいと思えます。それではよろしくお願いいたします。</p>

事務局	<p>それではこれより議事に入ります。当会設置条項第 6 条第 1 項の規定によりこの後の進行は市島委員長にお願いいたします。それではお願いします。</p>
市島委員	<p>それでは、本日の次第に沿って進めます。まずはじめに、各指標の進捗状況の報告をお願いいたします。なお、時間短縮のため、前回の推進委員会で報告されていないもののみとします。前回の報告内容はレジメをご覧ください。</p> <p>まず、「学校司書の配置の割合」について学校教育課さんお願いします。</p>
堀田委員	<p>今現在司書さんは 4 名おられます。学校は小学校が 12 校、中学校が 4 校で計 16 校あるので、司書さんの配置の割合としては 25% です。</p>
市島委員	<p>続きまして「1 ヶ月に 1 冊以上本を読んだ子どもの割合」について、同じく学校教育課さんお願いいたします。</p>
堀田委員	<p>この項目のような調査を学校教育課ではとっていません。小学校、中学校、公立の就学前施設を対象に秋の「生活習慣アンケート」を行い、「1 日当たりどれくらい読書をするか」という内容のアンケートをとらせてもらいました。小学校で「ほとんど読まない」と答えた割合が 37% で、中学校の方で「ほとんど読まない」と答えたのが 42% で、それ以外の子は何らかの本を毎日読書をしていると答えました。「読まない」という割合が多いので、そこを何とか減らしていけないかなと考えているところです。以上です。</p>
市島委員	<p>では、「就学前施設での 1 人当たりの年間貸出冊数」について幼児課さんお願いします。</p>
森田委員	<p>就学前施設においても今年度もコロナ禍のために、しっかり貸し出しができてない園もあり、貸し出しを実施している園は 34 園中 19 園で 56% でした。令和 2 年が 55.9% で令和元年度が 69% ということで少し少なくなってきている傾向があるんですけどもやっぱりここ数年はコロナ禍の影響があつて、貸し出しをやめているという声も聞いています。ただ図書館のはちっこぶっく号が来てくださっているので、そちらを利用しているというのを聞いております。</p>
市島委員	<p>続いて「学校図書館での 1 人当たりの年間貸し出し冊数」について、学校教育課さんお願いします。</p>
堀田委員	<p>まだ年間は出していないので、4 月から 10 月の前半期になりますが、小学校では 1 人当たり平均すると 11 冊。中学校では 1 人当たり 1.3 冊という冊数でした。中学校の方が少ないのは、読んでも本の文字が多かったりして、1 冊を読むのに時間がかかるというのも考えられますし、コロナ禍で開館していない中学校があつたり、家から本を持ってきて読んでいたりとか、各教室に先生が準備した学級文庫があつてそちらの方を読んでいるということもあつて、この学校図書館での貸し出し冊数というのがあまり伸びてないのかなというのも考えられます。</p>
市島委員	<p>続きまして「図書館での児童書の 1 人当たりの年間貸し出し冊数」についてお願いします。</p>
奥村委員	<p>失礼します。本日担当者が蔵書点検で出られないので、代わりに私が寄せていただきました。図書館での児童書の 1 人当たりの年間貸出冊数ですけども、令和 3 年度 2 月 15 日現在の数値では 16.6 冊となっています。昨年と比べて少し上がっています。</p>
市島委員	<p>続きまして「図書館と連携を実施している校園所の割合」について、幼児課さんおよび学校教育課さんお願いいたします。</p>
森田委員	<p>こちらについてはコロナ禍で計画が進んでいないこともあつて、きちんとした数</p>

	<p>字としては把握しておりません。ただ、団体貸し出しであったり、はちっこぶっく号に来て頂いたりしていただいたりとか、あとおはなし会や図書館に行かせてもらったりしている園はあります。以上です。</p>
堀田委員	<p>幼児課さんと同じく、ブックトークは今年も直接対面のものができなかったんですけれども、例年は行っています。それからのはちっこぶっく号も今年から連携しています。団体貸出しをしている学校もあります。なので、そういう面では連携がとれていると思っております。</p>
奥村委員	<p>直接的な割合は分かりますか。</p>
堀田委員	<p>それはとっていないです。</p>
市島委員	<p>それでは、読書活動に関わる研修の実施や研修への参加について、幼児課さんと学校教育課さんお願いします。</p>
森田委員	<p>12月15日に「わらべうたと絵本」の研修会ということで大船先生に来ていただいて行いました。あと1月11日に市内のこども園の現場の先生を講師にと考えていたのですが、正月明けからコロナがかなり進んだということでこちらが中止になっておりまして、来年度にもう一度実施する予定をしております。これは先生の絵本の読み聞かせから保育にどう繋げていくかという内容と、それぞれ参加する先生がお気に入りの本を1冊持ち寄って、それを交流するものだったので、ぜひ来年度やりたいなど計画しております。</p>
堀田委員	<p>県からの研修であったり、市生涯学習課さんからの研修を各学校にお知らせをして、参加していただける先生には参加していただくというような形で進めております。今年は市の担当者会が春に1回行ったんですけれども、コロナ禍でひどくなっているので、次回は4月か5月に担当者会を行おうかと考えております。</p>
市島委員	<p>以上、各担当課による報告が終わりました。それでは協議および意見交流に入ります。委員の皆様よりご意見やご質問を伺いたいと思います。</p>
奥村委員	<p>すいません2番目の1か月に1冊以上の本を読んだ割合を学校教育課さんが報告してくださいましたが、これは1年から6年生まで全部調べましたか。</p>
堀田委員	<p>はいそうです。</p>
奥村委員	<p>12校でなくてチョイスしたのですか。</p>
堀田委員	<p>小学校は12校、中学校4校の平均の割合になっています。</p>
奥村委員	<p>はい。ありがとうございます。</p>
市島委員	<p>他よろしいでしょうか。</p>
辻委員	<p>7番の「図書館と連携を実施している校園所の割合」というものですが、これ割合はそんな変動はないですけど、それよりも中身がどういうふうな連携が増えてきたのか、もう少し減ってきたのかなど中身がどのように推移しているのでしょうか。それに関する情報があるのか。</p>
奥村委員	<p>就学前ですけれども、平成29年から5年間計画で武佐学区への読書支援を実施しております。特にこども園でいうと、直接お話をしに行ったり、貸し出しを行ったり重点的にこの5年間やりました。その結果報告を後日しますが、今年度就学前の園児に読み聞かせをするための絵本キャラバンというものをやりまして、私立の大規模園15園に図書館の複本がたくさん副本があるものを園所の方へ配布して、</p>

	<p>そちらの所蔵にさせていただくように私立の園の読書環境を見せていただきながら、2月の初旬に配りました。図書館の除籍本 1,030 冊あるうちの譲渡数が 701 冊ということで、大規模園はほとんど受け取っていただきましたが、あと小規模それから家庭的保育所に本を同じように持っていきたくと思っています。就学前、公立私立問わず、就学時にはみんな同じような絵本体験ができていたということから始めた企画であります。今回第 1 回でしたが、令和 4 年から随時やっていきたいと思っています。</p> <p>また、学校についてはこのコロナ禍でなかなか行けなかったということで、生涯学習課がブックトークを動画で撮って配信くださいました。あと小学校 3 年生の見学については受け入れが 10 校でした。コロナ禍で 2 校お止めになりましたが、それ以外は見学を実施しました。あとは団体貸出しを行っております。特に今年度から就学前の読書環境の充実に力を入れています。幼児課さんと一緒に「絵本選定委員会」をひらき、公立私立の先生と一緒に絵本を選びました。ふるさと納税寄附金を活用して、各園へ設置する絵本を選ぶという作業をさせていただきました。それも連携の一つかと思っています。</p>
辻委員	<p>その連携の中で、学校現場で何か学習に使える本の貸出しはしていますか。授業で活用する本の貸出しなどはありますか。</p>
奥村委員	<p>学校での活用については、団体貸出しの中に入っています。</p>
辻委員	<p>実際に学校の団体貸出しの回数は増えていますか。</p>
奥村委員	<p>しっかりとした数は把握していませんが、朝の朝礼で、各学校の団体貸出しを確認する分で見ると、大きく減っているとは思いません。</p>
辻委員	<p>付け加えですが、武佐小学校を担当させていただいて、今の 1 年生は去年武佐こども園で積極的に読書活動をやっていたいただいていた。今年 1 年のオリエンテーションをした後、中休みなどに図書室に来る児童の数が去年より多くなったと感じています。今後の課題としては、就学前でやっていただいていたことが小学校でパタッと終わってしまっているのが問題なので、就学前でやってくださったことを聞きながら、小学校でどうできるか考えていかないといけないなと思いました。今の 1 年生が 2 年生になったらどうするのかなど、先を見据えて考えていかないといけないなと思っています。</p>
奥村委員	<p>ありがとうございます。とても心強いです。武佐こども園の事業はいったん終わりますけれども、小学校はどうなっているかと思っていまして、校長先生に「どうですか？」と聞いています。今後報告しますので、また司書さんの方にもお渡しして、担当と喋っていただきながら次学校ではどうしていくかということを考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>
水委員	<p>報告していただいた中で、「学校図書館の 1 人当たりの年間貸出冊数」ということで、中学生が借りている数がものすごく少ないので、スマホで読んでいるとか、家で読んでいるとかそういうことはどうでしょうか。こんなに読まなくなったのでしょうか。実態をお聞かせください。</p>
辻委員	<p>安土中学校に行かせていただいておりますが、朝の読書は毎日されていますが、家から持ってきているライトノベルみたいなもの多くて、なかなか図書室に来ることが少ない実態があります。あとは図書室から教室の場所が離れてる学年とかは余計に来にくい。2 年生が多くいると 1 年生が来にくいなど、学年の問題とかもあつたりもします。今各学年の教室の近くに図書館の本を持っていく形でアプローチしてみたらどうだろう、ということも考えて、少し進めています。それが、貸出冊数にどう影響するかとかというのは、まだやり始めたと思うのでわからないですが、実態としてはなかなか来にくいという現状があつてその実情が反映されてる数字だ</p>

	<p>と思います。</p>
市島委員	<p>他の中学校で、図書委員会が主になって図書館の本を月に一回ガラッと変えて、学級文庫を作ってるところがあったんですけども。八中さんなんかはどうなんでしょうか。</p>
森恒委員	<p>図書室は、学年が混じるとコロナの心配もあるので、月曜日は1年生など学年ごとに開いています。委員も頑張っていて、選んだ本を本棚やカートに定期的に入れ替えて学級文庫や学年文庫にしています。学年文庫はホールにしています。また授業内容に沿った本を教員が選んで入れています。余裕があれば、国語の教科書に載っているおすすめ本を入れて生徒に紹介しています。図書室が遠いのと、昼休みが短いのもあって、ホールなどを活用して工夫しています。</p>
市島委員	<p>そのホールの貸出冊数は、報告の中に入っていますか。</p>
森恒委員	<p>入っていないと思います。子どもたちが朝読書に読んでいる本を見ていると、読んでいないようには思いません。おうちで買ってもらっている子どもが多いと思います。学級文庫の利用も多いと思います。担任の先生方がたくさん本をおいてくださっているの、それを読んでいる子も多いです。</p>
辻委員	<p>質問よろしいでしょうか。先ほどの委員長の挨拶の中で、学校図書館の役割が変わってきていてとありましたが、そのことについて中学校の先生はどの程度認知されているのでしょうか。図書室は、本を読みに行くとか読書するという側面と情報の拠点になるというような認識を先生がどのぐらいあるのか。</p>
森恒委員	<p>使いやすい教科や使いにくい教科はあると思います。授業で使いたいと思う本が一冊しかないと使えないし、使いたいけどどうすればよいか考えている人は何人かいます。「図書館を覗いてください」といろんな教科の先生が言うんですけど、実際に来る人は一部の教師だと思う。中学教師への研修やオリエンテーションが1回でもあればちょっと変わるかもしれないなと思っています。使いたいと思っている人はいますが、使い方が難しいと思っている人は多いと思います。今ね、Chromebookが入ってきて、それで調べたら早いみたいなどころがある。公式のサイトに行けば早いとか思っている教師もいるので、図書館の活用は難しいと感じている。</p>
市島委員	<p>これからの読書活動に関わる動きというのは、その辺りが大事になっていきますね。2020年度の調べ学習コンクールで千葉県の小学校の小5の子だったと思うのですが、菅政権で「脱ハンコ」がすすんだ時に「ハンコって何なの」と思ったことから、自由研究にまとめ文部科学大臣賞を受賞されました。千葉県の袖ヶ浦小学校は、学校ぐるみで組織的に調べ学習のすすめ方をおさえながら取り組んでいることを聞きました。これはどこの学校でももっとやらなきゃ駄目だなと思います。あと個々には思っているのだけれども、それをどこでどのように進めていけばいいのかわからないので、進みにくいのかと思います。第1回推進委員会のときに、辻さんが利活用のことを取り上げて言ってくれたと記憶しています。そこって大事だなと思います。これからそういう力をつけていくためには、どこかとどこかがタッグを組んで同じように進めていくってことが、市内に起きないと難しいなというふうに思います。図書室担当の主任の先生がいてくださいます。学校司書さんがいてくださいます。司書教諭さんいてくださいます。もちろん学校教育課さんや図書館さんも入って、その辺のところをどうするかってことを進めていくような話し合いが必要かなというふうに最近思います。</p> <p>よろしいでしょうか？それでは、出尽くしたようですので、次の協議事項に入らせていただきます。</p>

事務局	<p>今年度の取組について事務局よりお願いします。</p> <p>レジメには3点書かせていただいております。一つ目のおすすめ本のポスターというのが4月の子ども読書の日の取組です。</p> <p>これは昨年の委員会の委員の皆様には就学前、小学校、中学校それぞれの年代に合わせてがおすすめ本を教えてください、それをもとにまとめました。就学前には園所に1枚ずつ、小中学校には学級に1枚ずつ配布しました。11月は2つあります。一つ目が、ブックトークとおはなし会さんのビデオ作成です。小学校低学年は近江八幡おはなし研究会さん、小学校中高学年は近江八幡図書館、中学校は市島先生と小西先生にご協力いただきました。各校の図書館教育担当の先生方に視聴を依頼しました。</p> <p>二つ目は、今年初めての取組で、子どもがすすめる本を紹介したポスターです。県生涯学習課の事業で夏休みの宿題になっていたものを島小学校と岡山小学校が提出してくださったので、それをまとめました。これを市内の小学校に送りました。</p> <p>振り返りとして、ブックトークビデオは今年初めての取組でしたが、国語科の時間、給食とか、他の教科の時間とか、あと朝の会や帰りの会など、その学校の事情に合わせて活用していただけたと思っています。あと、「なかなか普段手に取らないような本をすすめてもらえたので、子どもの興味が広がりました」「子どもが本に興味も持つきっかけになり、とても楽しんで見てました」という感想もたくさんありました。反省点として、時間が長すぎると集中が切れてしまうことと、11月が学校としてちょっとバタバタして忙しい時期でもあったので「視聴期間を広げてもらえたらありがたかった」というような声もありました。このコロナ禍で直接ブックトークができない期間でしたが、映像を通して子どもたちに届けられたことは大変よかったと思っています。以上です。</p>
市島委員	<p>中学校の方の感想はまだ集約は終わっていません。でも全体的にはよかったというふうに評価してくれて子どもがほとんどだったと思います。小学校のほうはどうでしたか。</p>
奥村委員	<p>正直やりにくいっていうのは職員から聞いていました。いつも直接反応を見ながらやっているんですけども、一方的にカメラに向かって話すので、これが届いてるかなっていうのが分かりにくかったです。</p> <p>やっぱり読書領域を広げるということで、「かいけつゾロリ」だけでなくいろいろな本を読んでもらいたいと思っています。ブックトークの後、紹介した本のリクエストがあり、それが成果として見えるのですが、今年はそれが見えにくかった。しかし、これからウィズコロナとしては、そうしたやり方もやっていかないといけないし、私たちもそれに慣れて、どのように本をアピールしていくかを考えていかないとと思っています。</p>
市島委員	<p>それと中学校の感想の中に、「図書館にある本が入っている方が良かった」と言われるんですね。でも中学校4校あって、全部入っている本を選ぶのは無理ですね。だから、何ヶ月か前に言うてくださるんだったらブックリストを先にお渡しできますしね。その本が図書館に入ると一番いいなと思います。そうすると、館長がおっしゃったようにリクエストがどれくらいあり、その本がどの程度貸し出しをされているのかっていうことが一目瞭然になるので、次回からはそうしたところに目を向けていけたらなっていうふうに思っています。</p>
事務局	<p>今年は撮影した私しか実際にブックトークを見ていないのですが、撮影をしながら「子どもたちの前で実際にやってもらいたい」と強く思いました。私自身がブックトークをととても楽しく感じながら撮影していたので、きっと子ども達もそう感じると思っています。今回は国語科以外の先生方もビデオを子どもたちと見えています。たくさん先生方にブックトークを知っていただくきっかけになったこともよかったと思っています。</p> <p>今回、市島先生が紹介してくださった本の中で、NHKの朝ドラの原作に選ばれ</p>

	<p>たものがありました。ブックトークを見た子どもの中で、「もしかするとこの前のビデオの中で紹介された人だ」と気づく子もいるかもしれないですね。</p>
市島委員	<p>私は課題図書をどれくらい読まれているか知りたくて、牧野富太郎さんの本を選びました。アンケートを見てみると、読んでいる子が少なかったので、紹介してよかったなと思っています。朝ドラになるとは思っていませんでしたが、気づいてくださるとうれいいですね。</p> <p>学校の先生方はどうでしたか。</p>
熊木委員	<p>ビデオなんだけど、印象に残って話してくれる子がいたり、紹介してくださる本に反応して話しかけている子もいました。</p>
市島委員	<p>他にご質問などありませんか。それでは次の協議事項にすすみます。</p> <p>令和4年4月23日「子ども読書の日」の取組について、事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>今年度も昨年度と同様に委員さんのおすすめ本をポスターやリーフレットにしようと考えています。年度初めは校舎所はお忙しいので特別な取組をするのではなく、配布という形が一番取り入れやすいと思います。今年度と同様に学年ごとに分けてポスターを作ります。就学前については、保護者向けにおすすめをすることが大事だと思っているので、保護者の手元に届くような冊子を作りたいと考えています。</p>
市島委員	<p>来年度の11月市民読書月間の取組はないのですか。</p>
事務局	<p>それは来年度の第1回推進委員会で取組を検討したいと思っています。</p>
市島委員	<p>ただ今の事務局からの提案について、質問やご意見を賜りたいと思います。</p>
辻委員	<p>ポスターはすごい効果があるなと思っています、ぜひ来年度もやっていただきたいと思っています。その中で、どこにある本なのかが分かる方がいいと思っています、紹介された本が学校にないこともあるので、市立図書館や学校単位でポスターを作成すると、どこにある本なのかが分かるので、施設ごとのポスターにできないのかなと思いました。</p>
事務局	<p>16種類作るということですか。</p>
辻委員	<p>例えば、学校図書館の本は、フォーマットさえあれば学校司書でつくれます。その16枚を市立図書館で張り出してもらえれば良いと思います。学校は、自分の学校にある本を紹介したポスターと市立図書館にある本の紹介ポスターの2枚があれば、どこにある本が紹介されているか分かるので、どうでしょうか。</p>
事務局	<p>前回の担当者会での話では、委員さんのおすすめ本の中の一部に、各校にある本を1, 2冊入れるということを確認したと思うのですが、違いますか。</p>
辻委員	<p>それよりも施設ごとにした方が、確実にその本に行きつけるという案です。</p>
奥村委員	<p>いいのではないのでしょうか、その方が子どもたちは本に行きつくし、学校図書館の活性化にもつながると思います。フォーマットさえ渡しておけば、司書さんがそれぞれおすすめの本を選んで下さったらいいと思います。</p>
辻委員	<p>フォーマット作りを生涯学習課さんでしていただいて、それを各校の司書が分担して作った方が早くて確実かと思っています。こまごました選書などは学校司書や市立図書館でやって、その全体を総括するのが生涯学習課さんでしていただくのがいいと思います。</p>
事務局	<p>それぞれの部署ができることをやるということですね。</p>

奥村委員	令和4年の教育委員会の教育基本計画でも、「早寝早起きあさしどろ」の読書を強化しようということに来年度はなりました。そこで図書館や学校教育課が頑張りますというのではなく、「学校や園はどのように取り組みますか」ということを考えてもらう段階になったので、まさにその流れと合うと思います。
事務局	ポスターは図書館や各校でつくっていただけるということですか。
堀田委員	それは学校司書さんが大変そうだと思いますが。
森恒委員	私もそう思います。学校にある本をすすめるのはいいと思うのですが、八幡中学校ではすでにやってもらっています。購入図書参考にしているので、学校にない本でもいいのかと思います。もし学校になくても「図書館に行く見つかるよ」とすすめられるので、図書館に行って様々な本に触れることもできるので、それもいい経験なのかと思います。4月は今年度と同じように作成して、11月市民読書月間や夏休みの読書感想文前に学校にある本を紹介する方が現実的だと思います。
辻委員	話はそれますが、市立図書館の方から学校で購入をすすめる本のブックリストがもらえると嬉しいです。
奥村委員	それはできると思います。それが我々の仕事ですから、希望があればやります。
市島委員	国語の教科書にはおすすめの本が載っていますね。あれは最低でも学校図書館に入りたいなと思いますよね。あるいは道徳の教科書にもいろいろな本からお話が出てきますね。ああいった本を並べたコーナーをつくれれば、また学校図書館も変わると思います。
奥村委員	コロナ禍に、教科書に出てくる本のリストを作らせていただいたときにすごくその本が貸出によく出たんです。先生が言われることはよくわかるんですけど、逆に司書としたら、国語や道徳の教科書に出ていない本で面白いものがいっぱいあって、そういった本も知ってほしいし、楽しんでほしいなという思いもあります。
事務局	今までの議論をまとめると、3パターンに分かれます。委員さんにおすすめしてもらった本をそのまま紹介するのか、委員さんのおすすめ本を載せて、ポスターの一部分にそれぞれの学校にある本を学校司書さんがすすめるのか、それぞれ学校司書さんや市立図書館で作ってもらったものを私がとりまとめるのか、その三つになりますが、いかがでしょうか。
市島委員	事務局さんに全てを取りまとめてもらうのは、今年度と同じになるので、意見が出た中で二者択一だと思います。
事務局	学校司書さんのご負担にならないように考えないといけないと思います。
森恒委員	学校別でポスターを4月までに作るのは難しいと思うので、それはまた違う時期にして、4月に作るのは、学校ごとではなく、委員さんのおすすめ本の紹介がいいと思います。
辻委員	学校ごとに選書してコメントを考えるくらいなら、通常業務の延長線上なので、学校別でも可能だと思います。
森村委員	私も3月末までなら大丈夫です。
大澤委員	ちょっと私自身は今年度の残務整理と来年度当初のいろんな計画を自分なりに立てているので、私の段取り的にちょっと厳しいなという思いが正直ございます。11月の読書月間までなら、気持ちの余裕はあるんですけど、この年度終わりで年度当

	<p>初オリエンテーションの用意もしないといけないですし、いろいろと時間的に厳しいなと自分自身は思います。</p>
事務局	<p>例えば、司書さんのおすすめ本の紹介を夏休み前にしてくださったりすると、夏休みにたくさん読んでくれるのかなと思いますね。</p>
森恒委員	<p>夏休み前におすすめの本を聞いてくる子は多いので、子どもも喜ぶと思う。夏休み前に本の紹介をして、それをきっかけに図書室に来てくれるようになると思う。</p>
事務局	<p>皆さんの意見を吸い上げて、この4月は今年度と同様の形ですすめて、また夏休み前や11月市民読書月間などの別の機会にさきほど辻委員が提案して下さった取組ができればと思います。</p>
市島委員	<p>そうですね、次は子どもの身近なところにある本を紹介できればと思います。そういうことでよろしいですか。</p>
事務局	<p>おすすめする本が図書館や学校にあるのかどうかをシールで示すと、どこで借りることができるのか分かりやすいと思うので、そのようにしたいと思います。</p>
市島委員	<p>では最後の協議事項です。令和4年度子ども読書に関わる研修会について、事務局より提案をお願いします。</p>
事務局	<p>来年度子ども読書に関わる研修会というものを1学期の時期に開催したいと思っております。目的としましては、学校の図書館教育担当の先生や学校司書さん、市内校園所に入ってくださってる読書ボランティアの方など、子ども読書が豊かになるためにお取り組みされている方々を繋げていけるといいなと思っています。なので、この研修会は勉強会の側面と、子ども読書に関わる方々のネットワーク作りの側面を持っています。</p> <p>この委員会で講師謝金の予算もついていますので、子ども読書についての講演を聞いた後に、先生やボランティアさん、学校司書さんや図書館司書さんをグループ分けして、日頃の実践や思いを交流できればいいなと思っています。</p> <p>終わった後に「来てよかったな」「来年もあればまた行きたいな」と思っていただけのような研修会にしたいなと思っていますので、堅苦しい会というよりも気軽に楽しみながら子ども読書について学んだり話したりできればと思います。</p> <p>お配りしたレジメに記入欄を用意いたしました。そこに、研修会で学びたいことや扱いたい内容をご記入いただき、本日の委員会で内容を2,3つ決めたいと思います。以上です。</p>
市島委員	<p>それでは令和4年の研修会の具体的な内容についてご記入いただきたいと思えます。5分間ほど時間を取らせていただきます。具体的に思いつく内容をご記入いただいて、5分後に皆さんと交流し持って決めていきます。</p>
前田委員	<p>それはよろしいですか。では、前田委員からよろしくをお願いします。</p> <p>私は著作権について学べる機会があればいいなと思います。あと、ネット上のモラルなどについても知りたいです。学校の中でパソコンやタブレットを使うようになって、正しい使い方などの知識が入ってくるまでに機械をもらっている気がしています。中学校で「学級に一台iPadが入る」と聞きました。それは何のためかというところ、オンラインで家で授業を受けるためだったり、みんなが調べ学習で使うと聞き、だんだん便利になるのがいいが、使うためのマナーが追い付いていないのではないかと思ったので、学びたいと思いました。</p>
市島委員	<p>確かに今までやってきたことの延長線上でやっていることが著作権に引っかかることもありますね。ありがとうございます。</p>

大澤委員	市内のある小学校では、図書を使った授業実践をされているところがあるので、さらにどのような実践があるのか学ぶことができればいいなと思います。現場の先生はお忙しいので、負担になるかと思うのですが、知っておきたいなと思います。
熊木委員	調べ学習のやり方について不勉強なので、学校ぐるみで段階を踏んで系統立ててすすめる方法を知りたいです。
森恒委員	同じように授業実践が知れたらいいなと思います。
水委員	小さい子に本を届けたいと思っているのですが、最近は親がスマホをすぐに与えると聞いたりします。なので、この情報化社会における本の役割をもう一度確認したいなと思います。
市島委員	私も調べ学習について考えました。それぞれの学校現場には、学校司書さんがいらっしゃるんですけども司書教諭さんもおられますね。図書館主任さんもいらっしゃいます。中学校では4月の段階で、年間指導計画をつくります。その中で図書館をどこで使うかっていうことも含めて、全部の教師に配られるんです。そう言ったものがどの学校にでもあれば、調べ学習の予定をきちっと把握することができますね。それがあれば学校司書さんもその月に何ができるかっていうのを考えながら、その教科の先生とコミュニケーションをとりながらいろいろ事前打ち合わせができるようになるのではないかなということを考えました。教師も子どもも、図書館の使い方が上手になるような、そんな研修ができればいいかなと思っています。
工藤委員	本の役割ってというのは、それもいいなと思ったんですけど、私としては絵本を読んでいる親は結構一生懸命読んでくださっているのですが。その絵本から児童書につなげるのが難しく、児童書につなげられた成功例を聞きたいなと思います。
奥村委員	<p>調べ学習のやり方については、以前児童図書研究会でポプラディアを使っていかに楽しく調べるかという実践をされていたので、図書館にも来て頂こうと思って、ポプラ社に電話をしたのですが返答がないのでまたできる機会をつくりたいと思います。</p> <p>先ほどのお話しにもあったことで、絵本から読み物にどう移行するのかということを図書館でも課題と感じています。貸出冊数は上がっているのですが、返ってくる本を見ると「かいけつゾロリ」、あんびるさん、「魔女っ子」がかなり占めています。子どもたちに読んでほしい本をしっかり読んでもらえるような取組をするのが図書館の仕事ですが、なかなか解決に向かえない現状です。その課題を解決している成功事例があれば聞きたいと思います。</p> <p>また、話は変わりますが、11月に図書館で読書のビンゴを行いました。本を読んだらマスを埋めていくものですが、そこに学校の本を入れたり、図書館に行って本を借りるようにしたりすると幅が広がるなと思いました。また11月の市民読書月間でそういったことができるといいなと思います。それぞれの取組をつなげることができればなと思います。</p>
堀田委員	中学校の先生は国語科では使ってくださっていると思いますが、他教科の先生は全然図書を使っていないと思います。この研修会に来てくださるのも、おそらく国語科の先生だと思うので、学校に帰って伝達してもらったり、学校で研修してもらうときに伝えられるような内容のものであったらいいなと思います。
森田委員	私は就学前の方に目が向くのですが、絵本とか本を好きになってもらうためには、心地よく読んでもらったり、いっぱい読んでもらって、「もっと読んでほしいな」「本って楽しいな」という気持ちがあって、次は自分で読んでみようとなるのかと思います。スマホを渡すと子どもは静かになるので、保護者はすぐにスマホを渡してしまう現状があります。情報化社会の中で、絵本や人のぬくもりを感じられる親子の関わりについてお話が聞けると嬉しいです。研修に参加された方がお話を聞いて実践を深めることで、保護者さんにも良い影響を与えられたらいいなと思います。

森村委員	先ほど就学前から小学校への読書活動のつなぎ方については市内でうまくいった武佐学区の事例を聞いたので、小学校から中学校への読書に関わる連携をどのようにするのか聞きたい。どのように本の体験をつなげていくのか知りたい。
辻委員	メディアの使い方について気になっていて、学校の先生は本よりもタブレットをどう使うかに関心があると思うので、本とタブレットの使い分けについて意識していかないと、学校図書館から離れていくのでないかと思います。幼小中における読書の発達段階について聞きたいです。中学卒業に向けて就学前、小学校がどのように取り組めばいいのかなども聞きたいです。
事務局	一つ共通理解させていただきたいことは、この研修会は参加者が幅広い年代の子ども達と関わってくださっていることです。就学前から中学校までの子ども達に関わる内容にできればよいと思っています。 そうすると、絵本から児童書への移行や読書のつなぎという内容と、情報化社会における図書館に必要な知識に関わる内容の2つになりますね。
市島委員	そうですね。絵本と児童書のつなぎとか、就学前での土台作りなどが「発達段階における読書」に集約されると思います。もう一つは情報モラルや現代社会において必要とされる読書のあり方について取り上げるといいのではないのでしょうか。
奥村委員	来年度図書館で就学前の読書普及に力を入れることになっているので、就学前における読書の研修は、来年度図書館でやる予定です。そこで保護者や園の先生向けにお話をさせていただこうと思っています。
事務局	うまく2つのテーマにまとめることができたので、以上の2つですすめていくということでよろしいでしょうか。
市島委員	そうですね。この議論を踏まえて、また事務局で上手に組み立ててくださればよろしいかと思います。
事務局	はい。分かりました。
市島委員	では以上で本日の議題が終了いたしました。とても熱心な話し合い、ありがとうございました。ここで議長の任を解かせていただきます。皆さまご協力ありがとうございました。
事務局	市島委員長ありがとうございました。皆様もお忙しいところの参加いただきありがとうございました。以上で第2回子ども読書活動推進委員会を終わります。

担当課 ⇒ 総務課